

経営比較分析表（令和2年度決算）

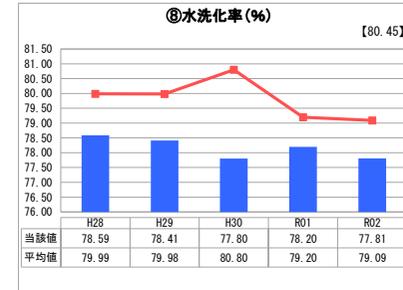
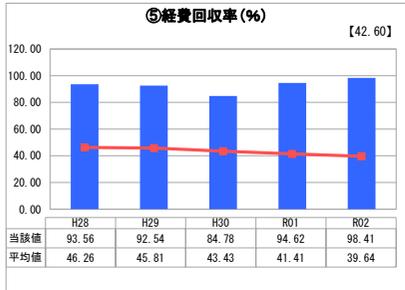
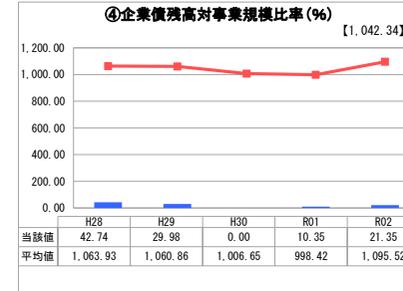
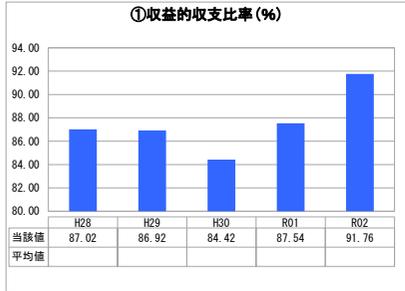
宮城県 川南町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|------------|--------------|---------|---------|---------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 漁業集落排水 | H2 | 非設置 |
| 資金不足比率 (%) | 自己資本構成比率 (%) | 普及率 (%) | 有収率 (%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円) |
| - | 該当数値なし | 6.05 | 86.77 | 2,700 |

| 人口 (人) | 面積 (km ²) | 人口密度 (人/km ²) |
|-------------|---------------------------|--------------------------------|
| 15,490 | 90.12 | 171.88 |
| 処理区域内人口 (人) | 処理区域面積 (km ²) | 処理区域内人口密度 (人/km ²) |
| 933 | 0.18 | 5,183.33 |

| グラフ凡例 | |
|-------|---------------|
| ■ | 当該団体値 (当該値) |
| — | 類似団体平均値 (平均値) |
| 【 | 令和2年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

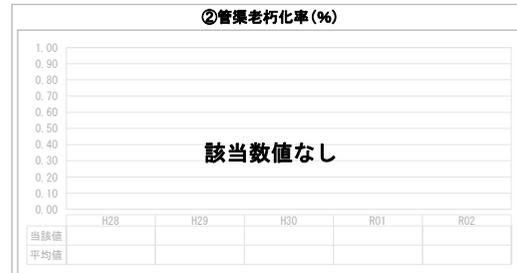
1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は、回復傾向にありますが、特に大きい工事・修繕等が無かったためと考えられ、依然として厳しい状況が続いております。
 ②累積欠損金比率は、該当数値なしです。
 ③流動比率は、該当数値なしです。
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を大きく下回っておりますが、機器の老朽化が進んでおり、今後、比率の上昇が考えられます。
 ⑤経費回収率は、上昇傾向にあるため今後もこの状態を保つ経営を続けていきたいと考えております。
 ⑥汚水処理原価は、類似団体平均を大きく下回っており、今後もこの水準を保ちたいと考えております。
 ⑦施設利用率は、30%前半と大変低い利用率となっております。漁業集落の地域環境を考えると、接続地域を広げることは難しい状況にあり、施設規模を見直す必要があると考えられます。
 ⑧地域内人口が減少傾向に集落であるため、今後も現状維持に努めます。

2. 老朽化の状況について

供用開始から30年近く経っておりますので、更新工事について考える時期にきています。施設規模も含めて、計画的な更新工事を進めていきたいと考えております。

2. 老朽化の状況



全体総括

地域内人口が年々減少しており、料金収入だけで安定した経営を行うのは大変厳しい状況にあると考えます。集落排水事業について、適正規模、合理的な経営等を考える必要があると考えております。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。